

2018年3月期 決算説明会

■ 決算説明

2018年5月10日
八千代工業株式会社

■ 2018年3月期 連結決算

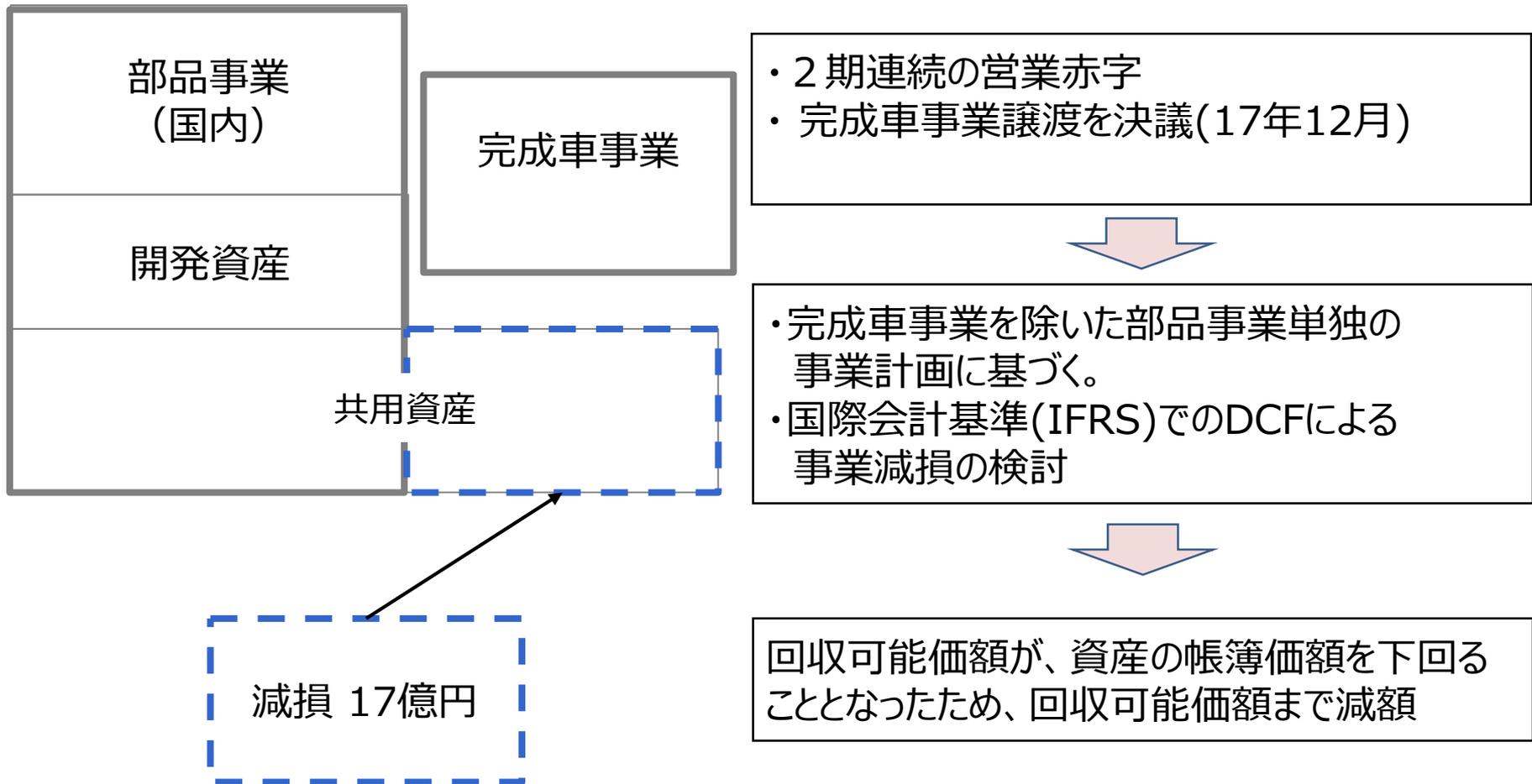
■ 2019年3月期 連結業績見通し

■ 2018年3月期 連結決算

■ 2019年3月期 連結業績見通し

継続事業	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	前年度比 (増減率)	1/31公表見通し からの増減額
売上収益 (自動車部品分野)	1,390億円	1,656億円	+266億円 (+19.1%)	+26億円 (+1.6%)
営業利益 (対売上収益比率)	88.3億円 (6.4%)	93.7億円 (5.7%)	+5.4億円 (+6.1%)	-1.3億円 (-1.4%)
税引前当期利益 (対売上収益比率)	89.8億円 (6.5%)	92.2億円 (5.6%)	+2.4億円 (+2.7%)	-2.8億円 (-3.0%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (対売上収益比率)	47.4億円 (3.4%)	48.0億円 (2.9%)	+0.6億円 (+1.1%)	+3.0億円 (+6.3%)
為替レート(AR) (USドル)	108円	111円	3円 円安	

非継続事業	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	前年度比 (増減率)
売上収益	84億円	93億円	+9億円 (+11.2%)
営業利益 (対売上収益比率)	11.8億円 (14.1%)	18.7億円 (20.1%)	+6.9億円 (+59.0%)
税引前当期利益 (対売上収益比率)	11.8億円 (14.1%)	18.7億円 (20.1%)	+6.9億円 (+59.0%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (対売上収益比率)	11.7億円 (14.0%)	24.5億円 (26.3%)	+12.8億円 (+108.9%)



完成車事業の譲渡を完了

○ 八千代工業四日市製作所株式会社が
完成車事業を承継し、1ヵ月間、事業運営

○ 八千代工業四日市製作所株式会社の
全株式をHondaに譲渡
Hondaの100%子会社化

○ Hondaとの譲渡契約を締結

○ 八千代工業四日市製作所株式会社を設立





2018年4月2日
ホンダオートボディーへ



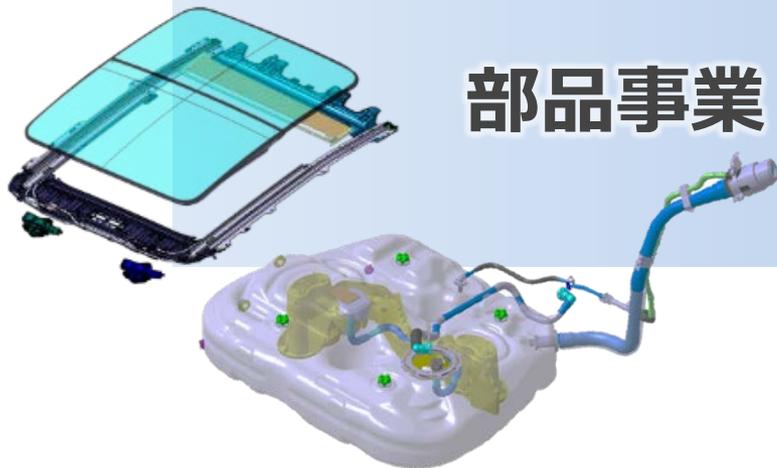
- ヤチヨが培った技術力・技能・経験
- Hondaにはない少量生産工場

Hondaの軽自動車事業の進化や
電動化等に伴う新技術・新機構の量産化の実現に貢献

↑
完成車事業



部品事業（既存事業）の強化・盤石化

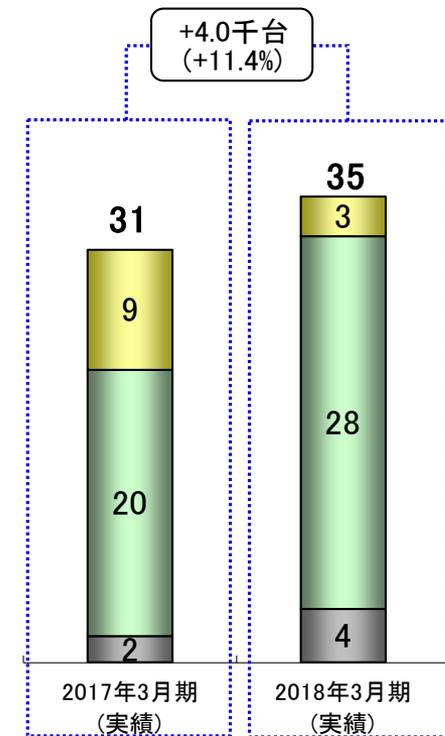
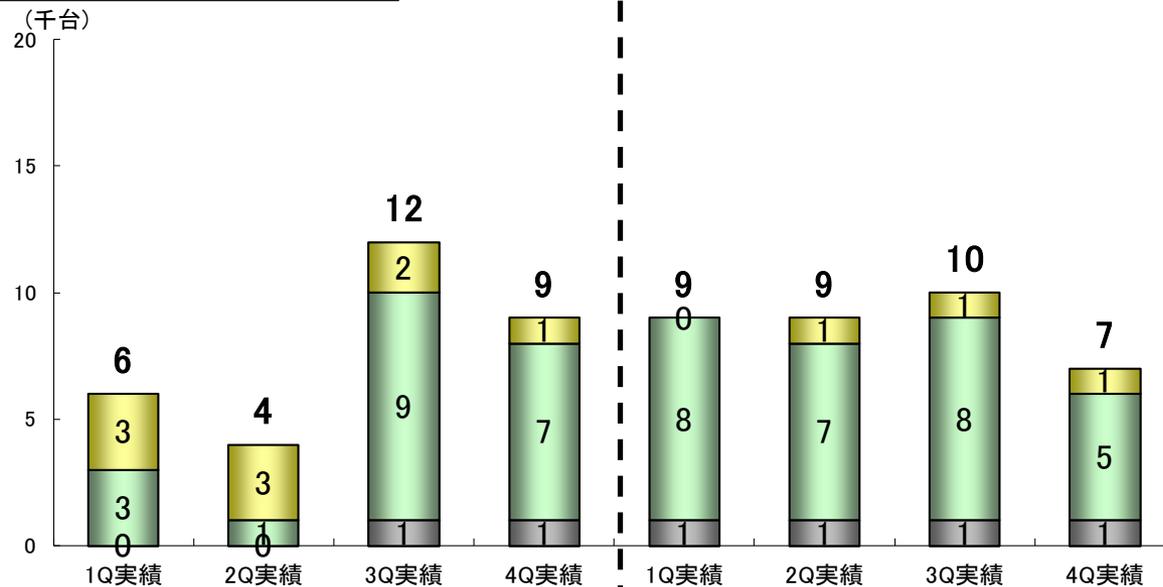


2018年3月期(12ヶ月間)自動車組立分野概況

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	前年度比 (増減率)
生産台数合計	31千台	35千台	+4千台 (+11.4%)
売上収益	90億円	100億円	+10億円 (+11.2%)

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)
日産台数	123台/日	137台/日
休買日	8日	10日

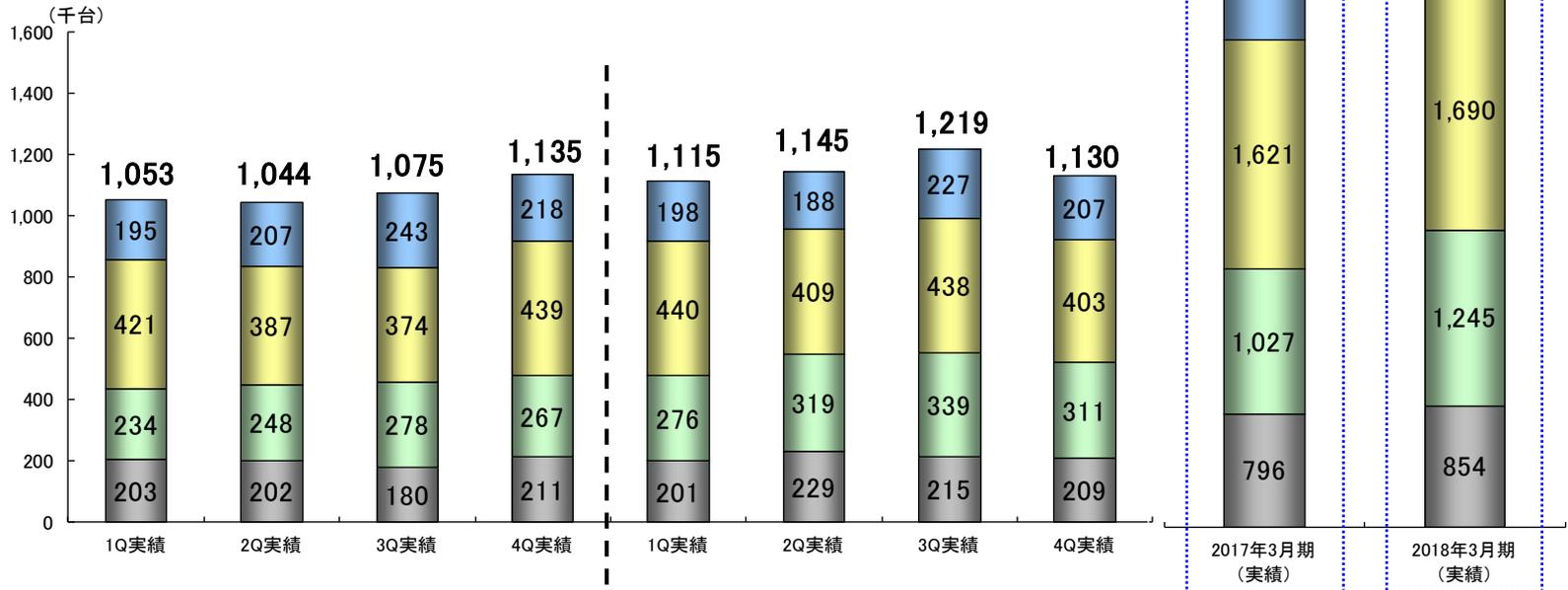
■S660 ■ACTY ■VAMOS



2018年3月期(12ヶ月間) (燃料タンク)自動車部品分野概況

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
生産台数合計	4,307千台	4,609千台	+302千台 (+7.0%)
日本	863千台	820千台	-43千台 (-4.9%)
米州	1,621千台	1,690千台	+69千台 (+4.3%)
中国	1,027千台	1,245千台	+218千台 (+21.1%)
アジア	796千台	854千台	+58千台 (+7.3%)
売上収益	312億円	384億円	+72億円 (+23.0%)
内、為替影響	-	+12億円	+60億円 (+19.2%) ← 実質的な売上増

■日本 ■米州 ■中国 ■アジア

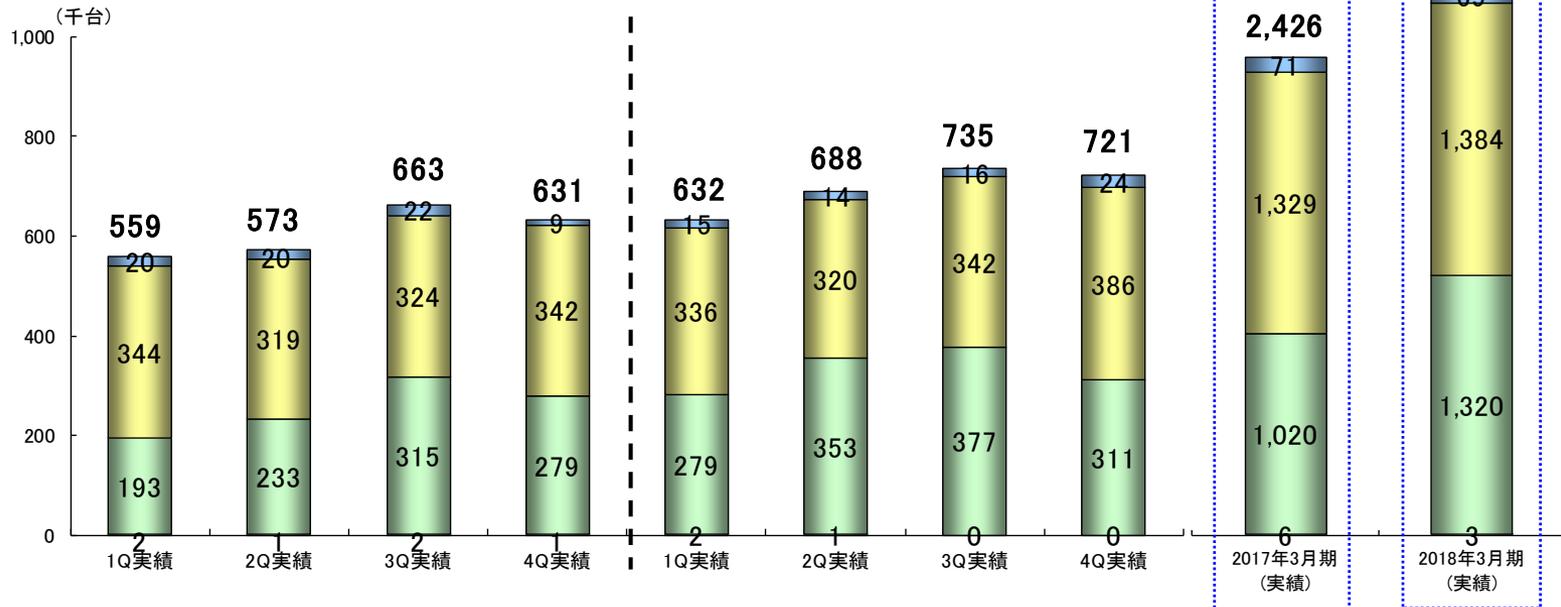


2018年3月期(12ヶ月間) (サンルーフ)自動車部品分野概況

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
生産台数合計	2,426千台	2,776千台	+350千台 (+14.4%)
日本	71千台	69千台	-2千台 (-1.8%)
米州	1,329千台	1,384千台	+55千台 (+4.1%)
中国	1,020千台	1,320千台	+300千台 (+29.4%)
アジア	6千台	3千台	-3千台 (-44.8%)
売上収益	438億円	539億円	+101億円 (+23.1%)
内、為替影響	-	+16億円	+85億円 (+19.3%)

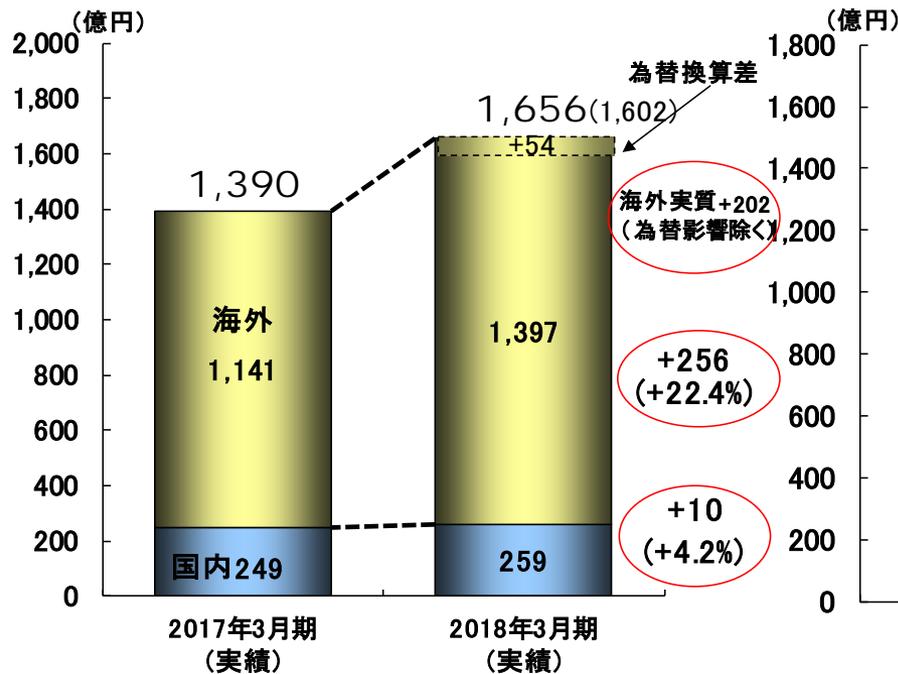
← 実質的な売上増

■ 日本 ■ 米州 ■ 中国 ■ アジア

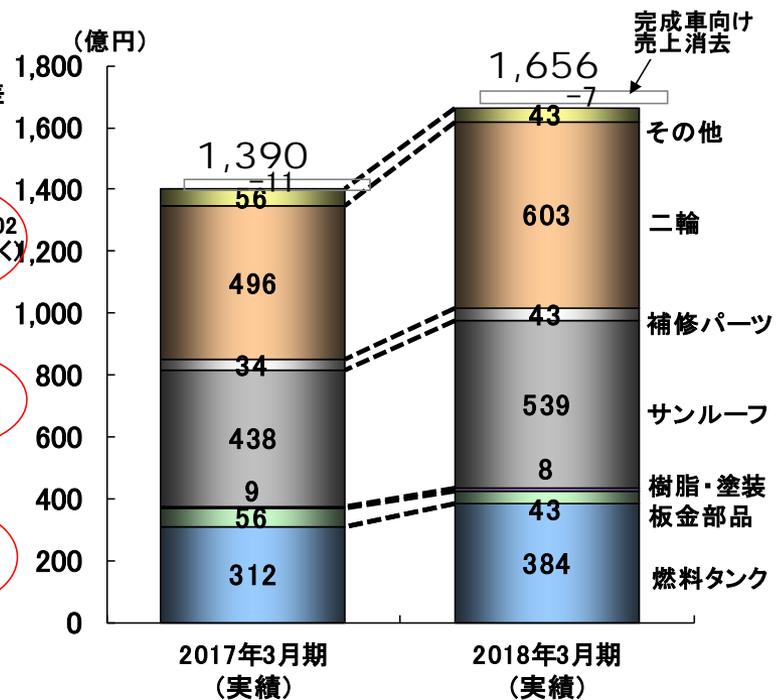


	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	前年度比 (増減率)
売上収益	1,390億円	1,656億円	+266億円 (+19.1%)

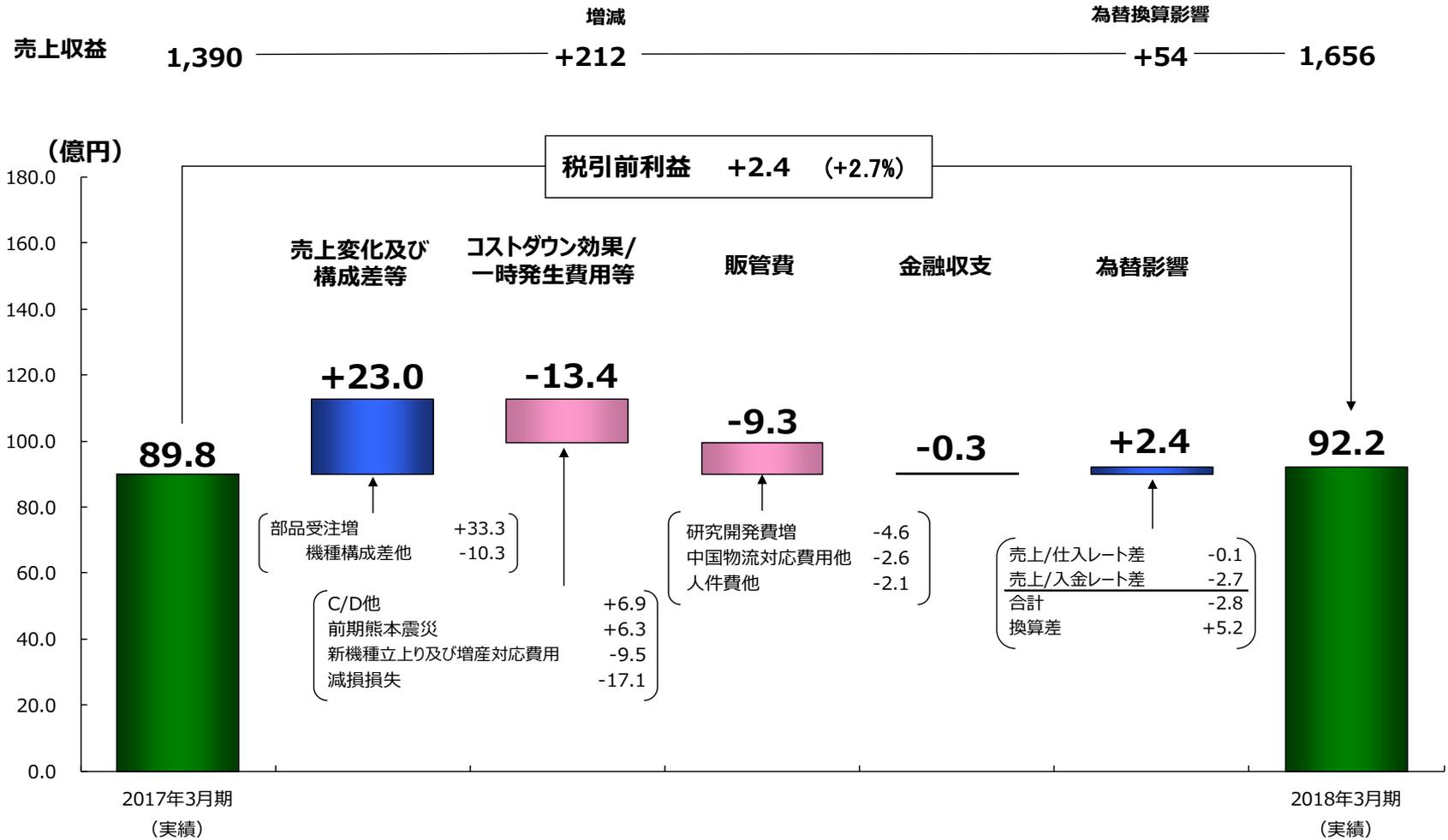
国内／海外区分



部品別区分



2018年3月期(12ヶ月間) 連結税引前利益増減要因



【日本】

売上収益 +10	
・二輪売上増他	+10
税引前利益 -17.4	
・売上変化及び機種構成差	-3.6
・コストダウン他	+1.7
・前期熊本地震	+6.3
・減損損失	-17.1
・研究開発費増他	-4.6
・人件費他	-1.1
・為替影響	+1.0

【米州】

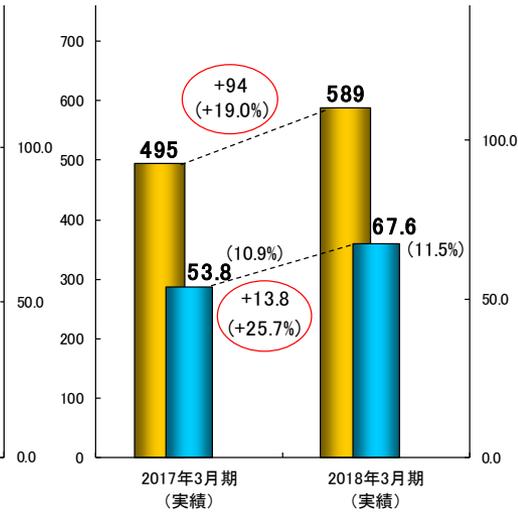
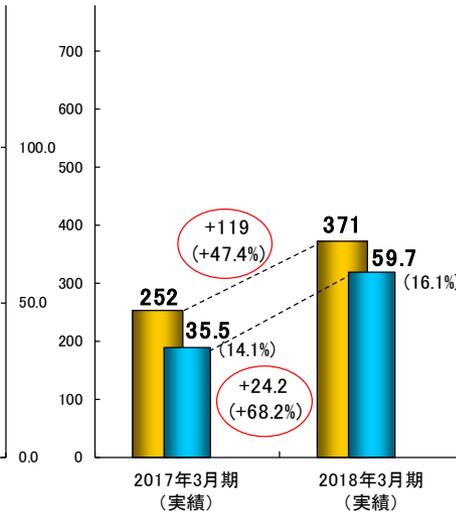
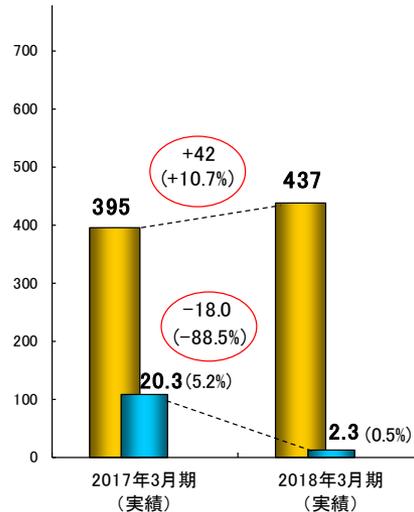
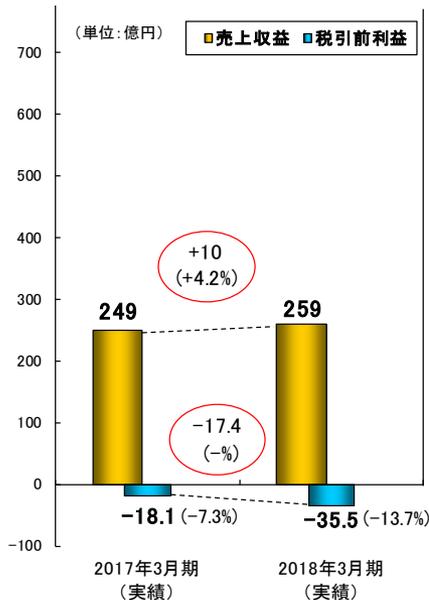
売上収益 +42	
・タンク及びS/R受注増加	+32
・為替影響	+10
税引前利益 -18.0	
・売上変化及び機種構成差	-6.6
・新機種立上り及び増産対応費用	-9.5
・為替影響	-1.9

【中国】

売上収益 +119	
・タンク及びS/R受注増加	+105
・為替影響	+14
税引前利益 +24.2	
・売上変化及び機種構成差	+20.6
・コストダウン他	+5.1
・中国增量物流費用	-2.6
・人件費	-1.0
・為替影響	+2.1

【アジア】

売上収益 +94	
・二輪売上増	+60
・四輪売上増	+6
・為替影響	+28
税引前利益 +13.8	
・売上変化及び機種構成差	+12.6
・為替影響	+1.2





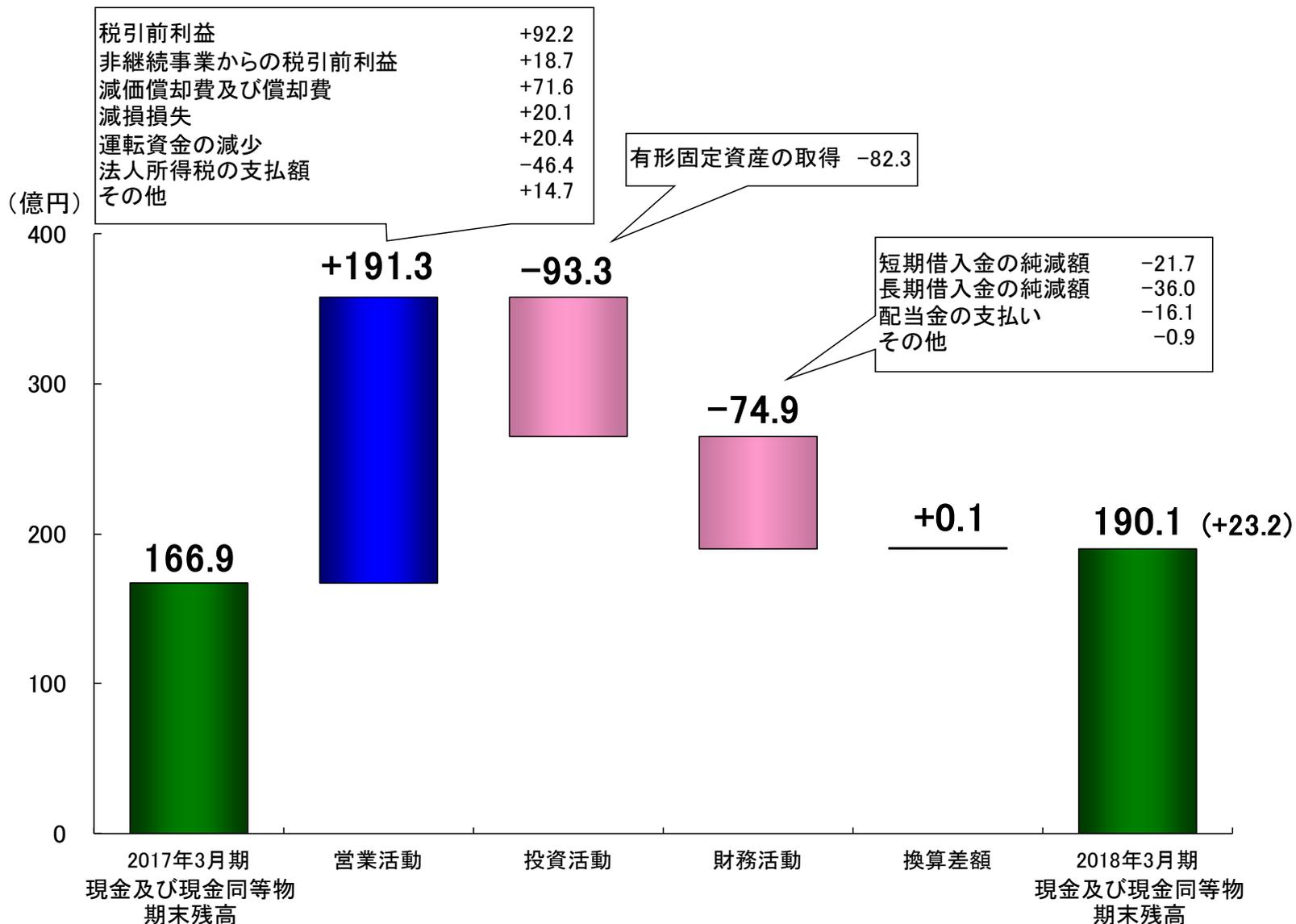
- 樹脂製燃料タンクにおける新技術・新製法の導入
- 上記技術を適用した新機種立ち上がり
- 新機種生産量の増加に伴う追従費用の増加
- 老朽設備での高負荷操業による稼働率の悪化
 - ・ メンテナンスを施しながらのフル生産

日本からのエキスパート支援を含め、安定生産維持対応を推進中

支援は今期上期までの見通し

新規設備への入れ替えによる生産体質強化を進める

設備更新を含めた盤石な生産体制を整え、今後さらに体質を強化していく

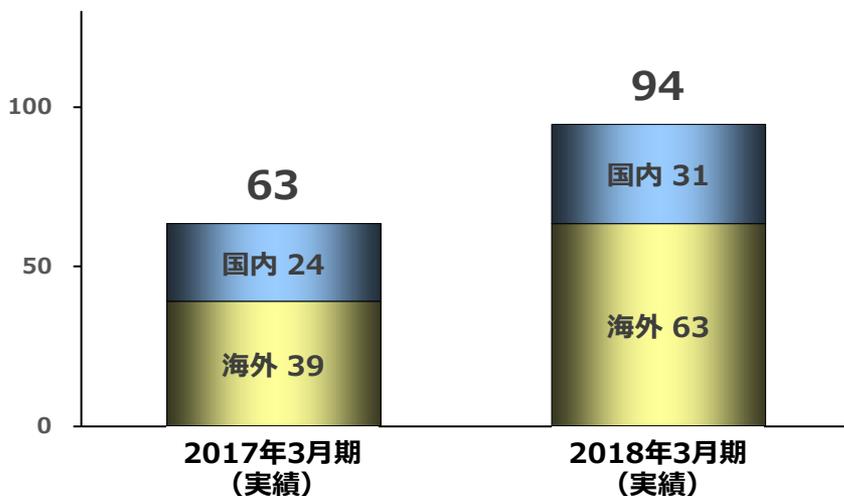


2018年3月期 連結財政状態計算書

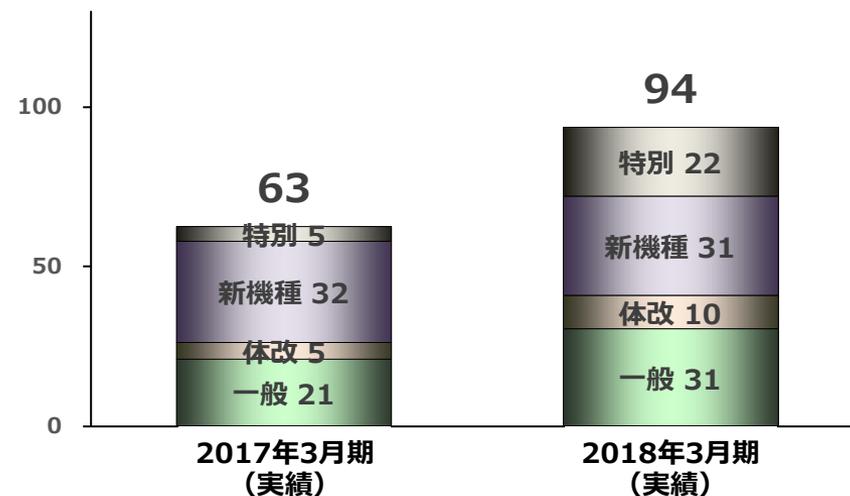
	2017年3月期	2018年3月期	増減	コメント
資産合計	1,309億円	1,313億円	+4億円	現預金の増加 +23億円 棚卸資産の減少 -20億円 その他 +1億円
負債合計	643億円	594億円	-49億円	有利子負債の減少 -59億円 未払金の増加 +22億円 その他 -12億円
親会社持分	555億円	590億円	+35億円	包括利益等 +42億円 配当金の支払 -7億円
非支配持分	111億円	129億円	+18億円	包括利益等 +27億円 配当金の支払 -9億円
資本合計	666億円	719億円	+53億円	—————
負債及び資本合計	1,309億円	1,313億円	+4億円	—————
有利子負債残高	209億円	150億円	-59億円	日本 -41億円 米州 +7億円 中国 -21億円 アジア -4億円
親会社所有者帰属持分比率	42.4%	44.9%	+2.5P	—————
有利子負債依存度	15.9%	11.4%	-4.5P	—————
1株当たり親会社所有者帰属持分	2,310円	2,457円	+147円	—————

2018年3月期 連結設備投資実績

【国内/海外区分】



【目的区分】



【投資の内訳】

	2017年3月期 (実績)		2018年3月期 (実績)	
	国内	海外	国内	海外
特別	1	4	3	19
新機種	11	21	14	17
体改	1	4	1	9
一般	11	10	13	18
計	24	39	31	63
合計	63		94	

【主な増減要因】

目的区分	地域	内容	金額
特別	米州	建屋拡張	2
	中国	能拡投資	6
		建屋拡張	3
新機種	日本	二輪新機種投資	5
体改	中国	生産効率向上投資	1
	アジア	生産効率向上投資	2
一般	日本	開発投資	1
	米州	更新投資	4
	アジア	更新投資	3
その他増減			4
合計			31

	2017年3月期	2018年3月期 (予定)	前年度比 (増減)
中間配当金	14円	16円	2円
期末配当金	14円	(16円)	2円
年間配当金	28円	(32円)	4円
連結配当性向	14.2%	16.0%	+1.8 P

【配当に関する基本方針】

長期的な視野に立ち、今後の資金需要や連結業績を考慮しながら実施し、内部留保金については、将来の事業展開に充て更なる業績の向上を図ると共に財務体質の強化に努める。

■ 2018年3月期 連結決算

■ 2019年3月期 連結業績見通し

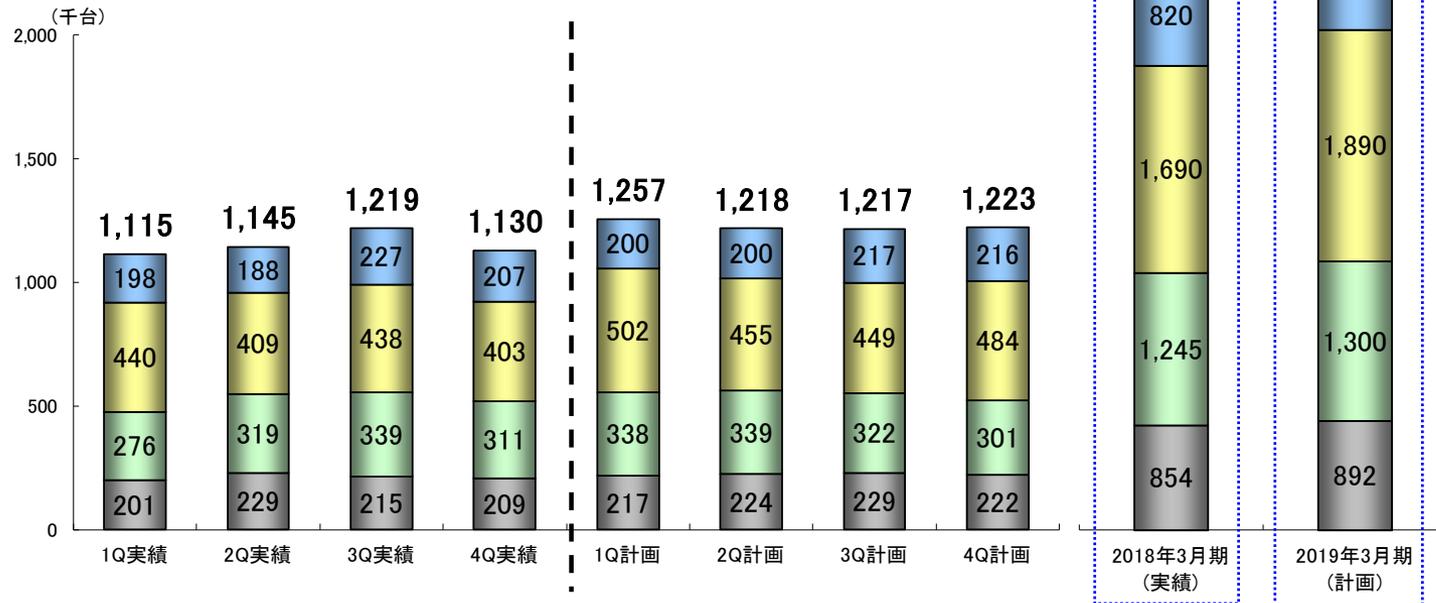
	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (計画)	前年度比 (増減率)
売上収益	1,656億円	1,630億円	-26億円 (-1.5%)
営業利益 (対売上収益比率)	93.7億円 (5.7%)	94.0億円 (5.8%)	+0.3億円 (+0.3%)
税引前当期利益 (対売上収益比率)	92.2億円 (5.6%)	94.0億円 (5.8%)	+1.8億円 (+1.9%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (対売上収益比率)	48.0億円 (2.9%)	50.0億円 (3.1%)	+2.0億円 (+4.2%)
為替レート(AR) (USDドル)	111円	105円	6円 円高

	2017年3月期	2018年3月期 (予定)	2019年3月期 (予定)	前年度比 (増減)
中間配当金	14円	16円	(16円)	0円
期末配当金	14円	(16円)	(16円)	0円
年間配当金	28円	(32円)	(32円)	0円
連結配当性向	14.2%	16.0%	15.4%	-0.6 P

2019年3月期 自動車部品分野 (燃料タンク) 売上台数&売上収益 見通し

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (計画)	前年度比 (増減率)
生産台数合計	4,609千台	4,915千台	+306千台 (+6.6%)
日本	820千台	833千台	+13千台 (+1.6%)
米州	1,690千台	1,890千台	+200千台 (+11.8%)
中国	1,245千台	1,300千台	+55千台 (+4.5%)
アジア	854千台	892千台	+38千台 (+4.4%)
売上収益	384億円	397億円	+13億円 (+3.4%)
内、為替影響	-	-16億円	+29億円 ← 実質的な売上増 (+7.5%)

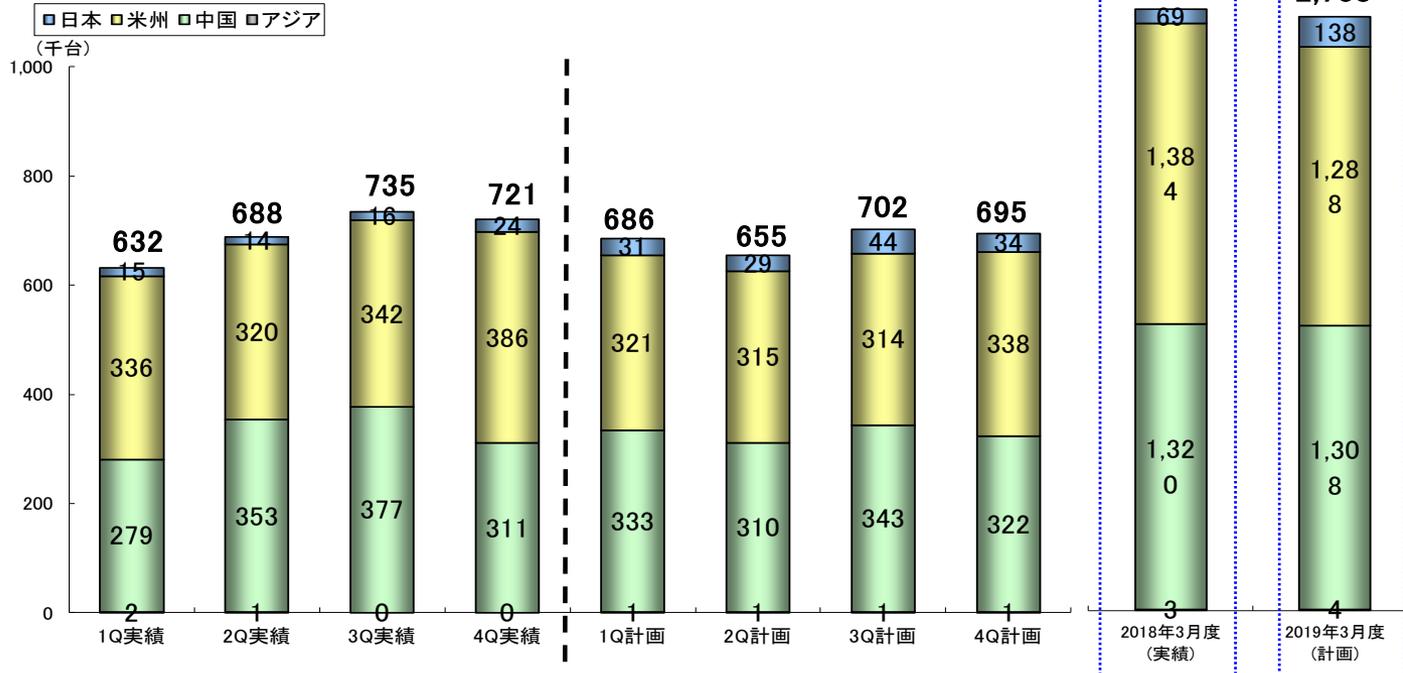
■日本 ■米州 ■中国 ■アジア



2019年3月期 自動車部品分野 (サンルーフ) 売上台数&売上収益 見通し

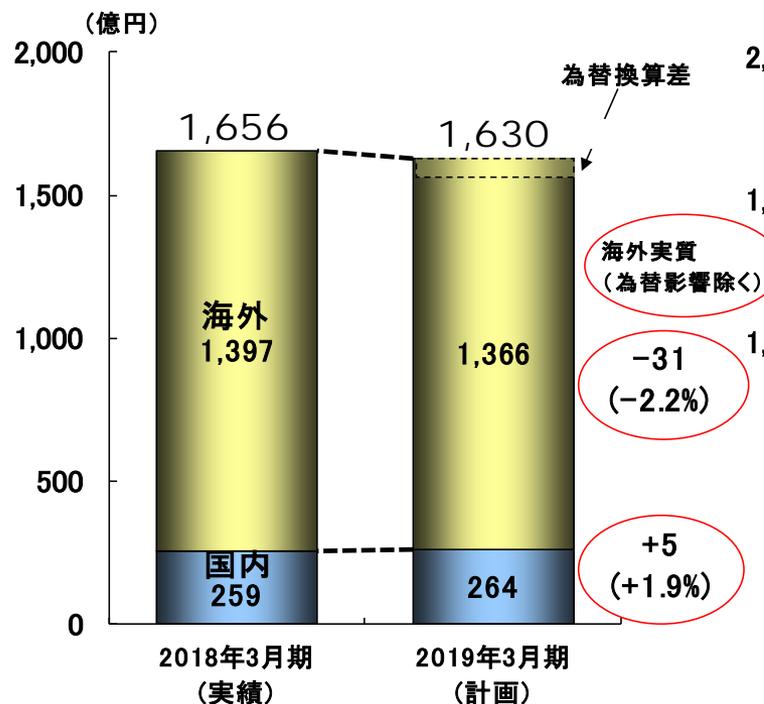
	2018年3月度 (実績)	2019年3月度 (計画)	前年度比 (増減率)
生産台数合計	2,776千台	2,738千台	-38千台 (-1.4%)
日本	69千台	138千台	+69千台 (+99.6%)
米州	1,384千台	1,288千台	-96千台 (-6.9%)
中国	1,320千台	1,308千台	-12千台 (-0.9%)
アジア	3千台	4千台	+1千台 (+%)
売上収益	539億円	540億円	+1億円 (+0.1%)
内、為替影響	-	-16億円	+17億円 (+3.1%)

← 実質的な売上増

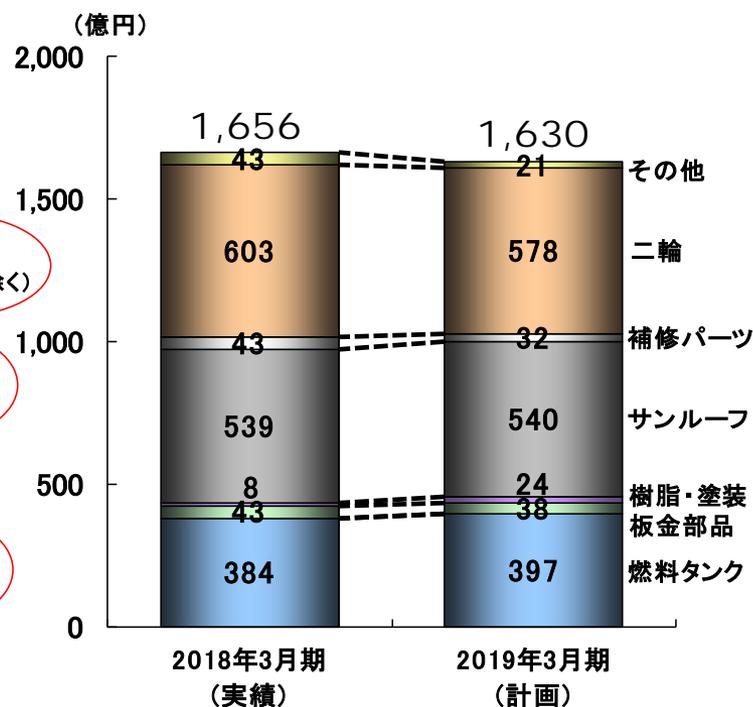


	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (計画)	前年度比 (増減率)
売上収益	1,656億円	1,630億円	-26億円 (-1.6%)

国内／海外区分

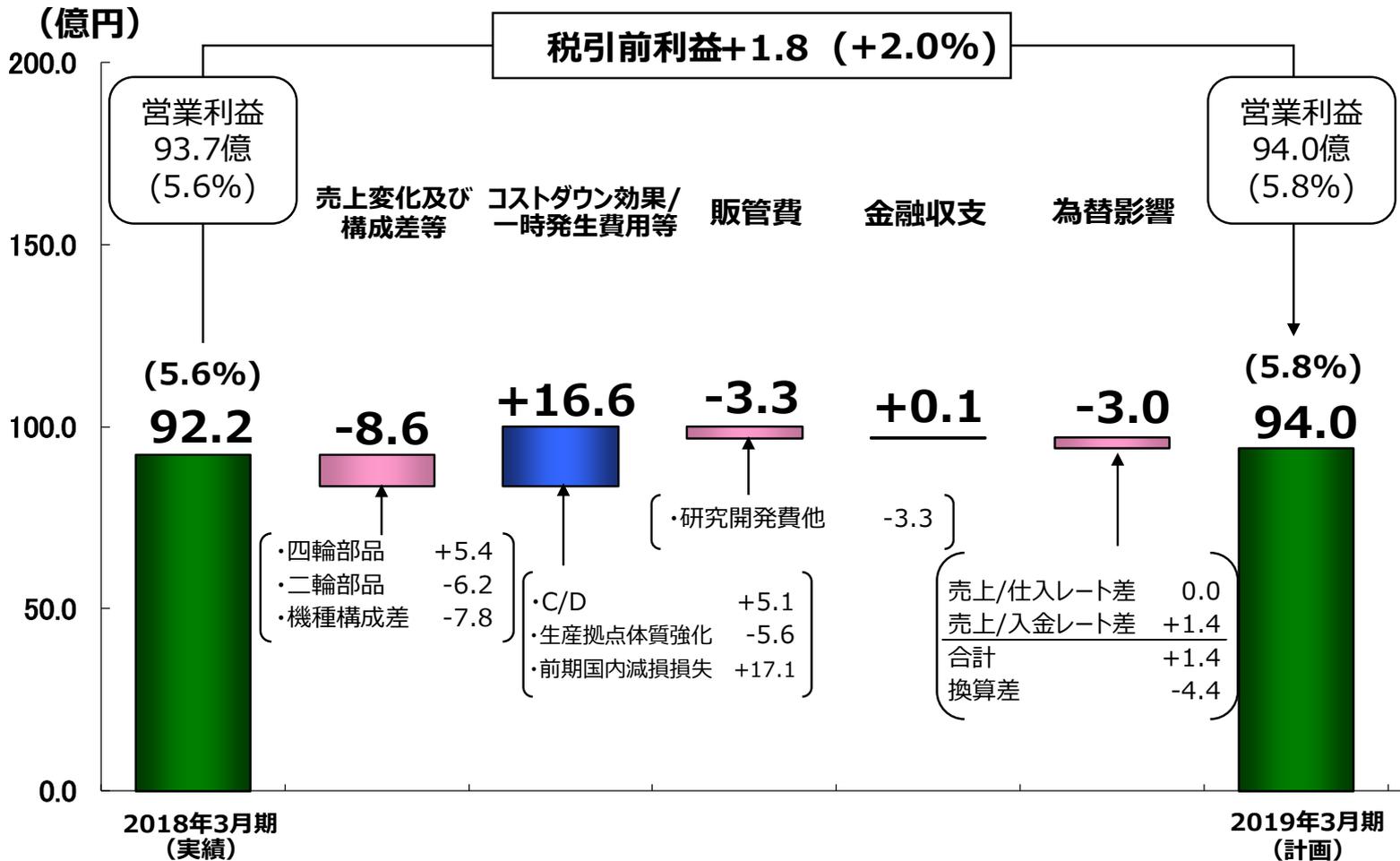


部品別区分

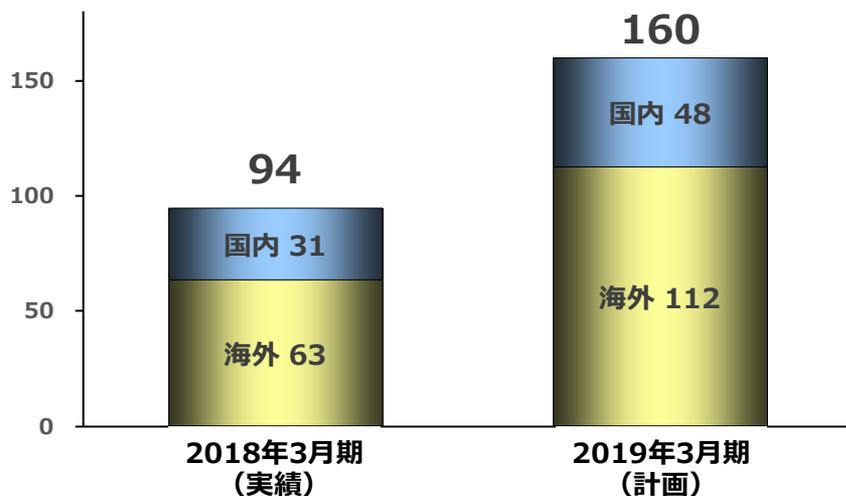


2019年3月期 連結税引前利益増減要因 前年度比

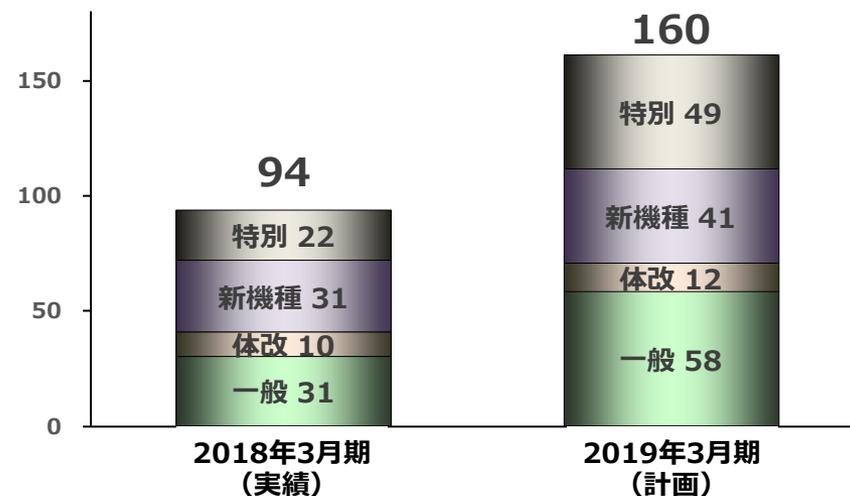
売上収益 1,656 増減 +29 為替換算影響 -55 1,630



【国内/海外区分】



【目的区分】



【投資の内訳】

	2018年3月期 (実績)		2019年3月期 (計画)	
	国内	海外	国内	海外
特別	3	19	6	43
新機種	14	17	14	27
体改	1	9	3	9
一般	13	18	25	33
計	31	63	48	112
合計	94		160	

【主な増減要因】

目的区分	地域	内容	金額
特別	日本	建屋拡張	3
	米州	設備更新投資	16
		建屋拡張	5
	中国	能拡投資 (建屋含む)	13
新機種	中国	四輪新機種投資	17
一般	日本	開発投資	7
		IT関連投資	2
	中国	品質投資	2
	アジア	更新投資	2
その他増減			-1
合計			66

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。尚、上記の不確定性及び変動可能性を有する要素としては、主に以下のものがあります。

- ・主要市場における経済情勢及び需要の変動
- ・為替相場の変動
- ・主要市場における貿易規制等の各種規制
- ・主要市場における政治情勢
- ・当社が事業活動を行う上生じる当社の責めに帰すことのできない様々な障害